

# 亀井病院広報誌

秋

2023 Vol.48

Pipi ピピ

中達 弘能

— 前立腺肥大症でお困りの方に —

身体に負担の少ない

経尿道的水蒸気治療 (WAVE 治療)

原泌尿器科病院 × 亀井病院

第3回 ブラッシュアップセミナーの開催

Topics

徳島県表彰・新入職員紹介

栄養部 カメイのゴハン

きのこもち麦の腸活スープ

# 身体に負担の少ない経尿道的水蒸気治療 (WAVE 治療)

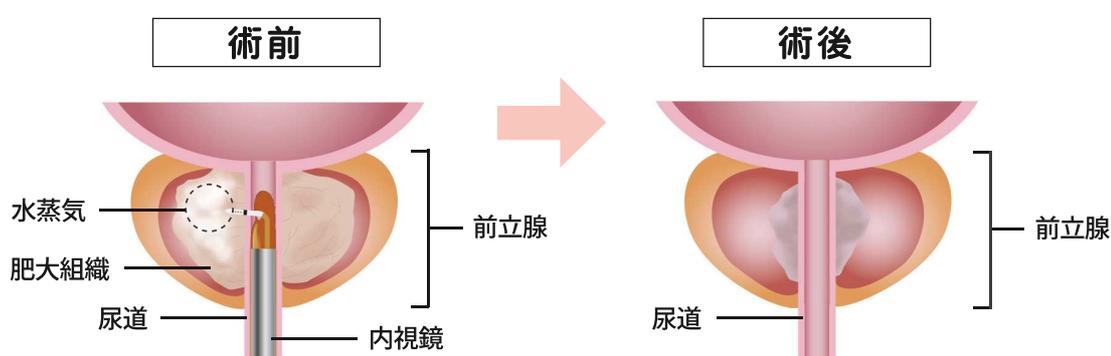


泌尿器科部長  
中達 弘能

## ■ 経尿道的水蒸気治療 (WAVE 治療) とは

WAVE 治療とは、水蒸気を用いた前立腺肥大症に対する新しい内視鏡的手術療法です。

内視鏡で肥大した前立腺部に水蒸気を注入し、水蒸気の熱を利用して前立腺を退縮させるため、身体に負担が少ない治療方法です。



尿道から内視鏡を挿入して 103℃の水蒸気を 9 秒間注入し、前立腺組織を約 70℃まで上昇させ組織を壊死させる。

2022 年 9 月より保険適応となり、当院では 2023 年 5 月から WAVE 治療を開始しています。身体への負担が少ないことから、身体状態不良による合併症リスクの高い方、高齢、認知機能障害による術後せん妄、身体機能低下リスクの高い方、心血管系の合併症で抗凝固剤を内服している方などが対象となります。なお、抗凝固剤の中止が困難な方でも内服を継続したままで治療可能です。

### 【対象となる方】

- 合併症リスクの高い方
- 高齢もしくは術後せん妄リスクの高い方
- 身体機能低下リスクの高い方
- 薬物療法であまり効果が出ない方
- 前立腺重量が 30g ~ 80g の方

### 当院の施設認定等

### ワークライフシナジー

- 日本泌尿器科学会泌尿器科専門医拠点教育施設
- 日本透析医学会専門医制度認定施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本緩和医療学会認定研修施設
- 日本臨床栄養代謝学会 NST 稼働施設
- DPC 対象病院
- 一般病棟入院基本料 (急性期一般入院料 1) [7 対 1 看護]
- 産休・育休後の復職率 100%を 19 年間継続しています

前立腺肥大症を患っていて、合併症リスクが高くて手術ができず、尿道カテーテルを留置して定期交換処置を続けられている患者さんも、この手術であれば治療が検討できます。ぜひ、ご相談・ご紹介ください。

## ■ WAVE 治療の特長

この手術の特長は、手術手技が簡便であり、**手術時間が 10～15 分と非常に短い**ことです。しかし手術時間が非常に短い一方、術直後は温熱による浮腫で前立腺が一過性に腫れて尿が出にくくなる等の症状が出るため、術後のカテーテル留置期間が 3～7 日とやや長くなります。また**個人差はありますが、5泊6日程度の入院が必要**となります。

## ■ 治療効果はいつ頃から実感できるか

水蒸気によって壊死した組織が体内に吸収され始めると、それに伴って症状の改善が見られます。組織の自然吸収は患者さんによって異なりますが、効果が出るまでに 1～3 ヶ月程度かかるかとされていますので、尿が全く出ない尿閉のため尿道カテーテルを留置している患者さんでは、術後尿道カテーテルの抜去が 1～3 ヶ月後になる可能性があります。

早期の治療効果を期待される患者さんには、当院で多くの実績がある光選択的前立腺蒸散手術 (PVP) をおすすめします。  
※ PVP 手術は、2023 年 8 月末までに 297 件を施行しています

## ■ WAVE 治療の症例

WAVE 治療を開始した 5 月～8 月の間に、尿閉患者 2 例を含む 4 例の患者さんに WAVE 治療を行いました。全例とも手術時間は 10～15 分でした。尿道カテーテルは、尿閉でない患者さんは術後 4 日目に、尿閉患者さんは 2 例とも 1 ヶ月後に抜去でき、排尿状態が改善しました。

今後もそれぞれの患者さんの状態を見ながら、光選択的前立腺蒸散手術 (PVP)、経尿道的水蒸気治療 (WAVE) のどちらを選択するかを考え、患者さんに満足していただけるよう最良の治療を行ってまいります。

前立腺肥大症でお悩みの方は、ぜひ一度ご相談ください。



## 2つの病院が医療の質をブラッシュアップする取り組み



品質管理責任者  
放射線部主任  
中田 拓史

### ■ 第3回ブラッシュアップセミナー ～最強のチーム医療を目指して～

私たちが取り組む「ブラッシュアップセミナー」は、異なる地域で同じ志を抱いている2病院が最強のチーム医療を目指すためのセミナーで、学術的・経営的視点での情報交換の機会とし、相乗効果による両病院の成長発展に繋げることを目的としています。年1回開催しており、8月19日に第3回目を迎えました。

原泌尿器科病院（神戸市）と亀井病院（徳島市）は、お互いに小さな個人病院、都会と地方ではありますが同じ診療科目、同じ施設規模を有し、泌尿器科と透析科に特化した病院です。それぞれの病院は地域での競合関係にないことから、互いに価値の高い情報共有・課題への意見交換が可能で、他の同規模病院では類を見ない取り組みだと考えています。

今年は当院が会場となり、原泌尿器科病院から12名の方が来院され、オンラインも交えながら両病院合計で67名の職員が参加しました。



### ■ プレゼンテーションと職種間交流

「外来部門」「手術部門」「透析部門」の3つのセッションに分け、業務効率化をテーマにプレゼンテーションとディスカッションを行い、お互いの現状と課題に関する意見交換ができました。

また、同職種ごとに分かれて内部事情も含めた相談ができる職種間交流の時間も設けました。



事務部医事課係長  
森本 亜紀子

#### ■ 外来「業務効率化を叶える3つの取り組み」

今回、ブラッシュアップセミナーにて発表の機会をいただきました。外来における業務効率化に対する取り組みについて、昨年度からの業務内容を振り返りながら、部内スタッフと協力して発表準備を進めてきました。

当日の職種間交流の時間では、事務スタッフの方からより具体的な業務についてのお話を聞くことができました。準備までは大変な部分もありましたが、今後の改善点を考えるきっかけにもなり、収穫の多い有意義な時間となりました。



看護部主任  
芝 佳代

### ■ 手術室「業務効率化に向けたチームでの取り組み」

手術室の業務効率化について発表しました。当院でも効率化に向け取り組んでいますが、原泌尿器科病院と当院の手術室運用の違いが分かり、良い刺激を受け、今後の課題が見つかりました。

セミナー後の職種間交流では現場の方に直接質問することができ、今後の業務の参考になりました。多種職で協力して更なる業務効率化の取り組みにチャレンジしたいと考えています。



臨床工学部主任  
後藤 知宏

### ■ 透析室「業務効率化への取り組みと見えてきた課題」

ブラッシュアップセミナーへの参加は今回で3回目となります。このセミナーで行われる職種間交流をいつも楽しみにしています。今回は「業務効率化」をテーマに透析室での課題について意見交換をすることができました。

お互いの透析室の「現状」「悩み」「透析室あるある」を時間の許す限り話すことができました。「なるほど!!」と唸ったり「それあるある(笑)」と共感したり、意見交換による新しい発見があり、有意義な時間でした。

セミナーでの学びを現場にフィードバックし工夫を重ね、業務のブラッシュアップに努めたいと思います。次回、成長したところをお互い共有できることを楽しみにしています。

## ■ セミナーで得られた Chance

ちょっとした改善は目の前にあり、日々のミーティングやトライ&エラーを繰り返すことで、それが道筋になりブレイクスルーへと繋がっていくと考えています。今回のプレゼンテーションでもそう感じ、非常に刺激される内容でした。

職種間交流はお互いの理解と課題解決には時間が足りない位でした。その中でも、表面上でなくお互いの実情を話せることは非常に良い環境であり、得られるものが多かったと実感しています。

「業務効率化」は口では簡単に発信できますが、一步前進するにはなかなか難しい課題です。一人ひとりが意識をして小さな事からチャレンジすることが、まさにブラッシュアップに通じると感じています。

ある講演で聞いた記憶に残っている言葉があります。「～ No Action No Chance, No chance No Gain ～ 行動を起こさなければチャンスはない、チャンスがなければ得るものはない」

私たちは、このようなセミナーを通してより良い医療提供を目指し、診療の場にフィードバックできるようにチャレンジし続けています。

## Topics 徳島県表彰

柏木英里子看護部顧問が「徳島県表彰式」にて表彰されました。柏木顧問は多年にわたり看護業務に精励したとして賞状と記念品を後藤田知事から授与されました。

### 柏木英里子看護部顧問からひとこと

小松島赤十字病院(現 徳島赤十字病院)で18年間の勤務を経て、亀井病院で看護師長・認定看護管理者として務め、65歳の定年後も、看護部顧問、品質管理室の一員として勤務し、30年目になりました。

看護師として働き続けられたことのひとつに、患者さんやご家族の方から「ありがとう」などの感謝の言葉があります。その言葉に自分自身が助けられたり成長させてもらったりしました。そういったものが今回の受賞に繋がったと感じています。今後は、品質管理室のサポートをしつつ、若手の背中を押していきたいと思っています。この度の受賞は大変光栄なことで、今後の人生の励みになります。これからも微力ながら社会貢献できるように努めてまいります。



## 新入職員のご紹介 ①氏名 ②職種 ③出身地 ④趣味・特技 ⑤抱負をひと言



①森岡 すず(もりおか すず)  
②看護助手 ③徳島県  
④読書、筋トレ  
⑤先輩方に教えていただきながら、  
患者さんの力になれるよう頑張りたいです。



①近田 采花(ちかた さいか)  
②准看護師  
③徳島県  
④音楽鑑賞、ドライブ  
⑤学業と両立しながら、精一杯努めてまいります。

Pipi、ってなあに？

「Pipi」とはフランス語で「おしっこ」の意味です。  
広報誌の発刊が決まったとき、職員に名称を募集したところ、集まったもののなかでキラリと光っていたのがPipiでした。当院の特徴である腎・泌尿器を表現できているのではないかと考えています。

# カメイのゴハン

## きのこのこともち麦の腸活スープ



夜風が涼しくなり、残暑も少しずつ落ち着いてきましたね。季節の変わり目には、風邪などの体調不良になりやすくなります。そんな時には、腸活レシピはいかがでしょう？『腸活』とは、腸内環境を整えることをいい、免疫力もアップするとされています。

今回は、食物繊維が豊富なきのこもち麦を使った温かいスープをご紹介します。もち麦のぷちぷちとした食感も楽しんでみてください。

(管理栄養士 武市 朋子)



### 材料 (2人分)

豚肉 … 30g	★中ざら糖 … 1g
しめじ … 20g	★だしわり … 1g (めんつゆでも可)
えのき … 20g	★みりん … 4ml
エリンギ … 20g	だし汁 … 150ml
人参 … 5g	①薄口醤油 … 12ml
ねぎ … 3g	②和風顆粒だし … 0.6g
もち麦 … 大さじ1	③こしょう … 0.2g
干しいたけ … 1g	④みりん … 2ml

### つくり方

- ① 具材をお好みの大きさに切り、干しいたけは★で煮る。もち麦は下茹でしておく。
- ② だし汁に①と豚肉を入れ、豚肉に火が通るまで煮る。
- ③ 薄口醤油、顆粒だし、しっかりめのこしょうで味付けし、最後にもち麦とねぎを散らす。

エネルギー：97kcal    リン：97mg  
たんぱく質：5.4g    食塩相当量：1.1g  
カリウム：247mg    (1人分)

# 外来診療のご案内 令和5年10月現在

	月	火	水	木	金	土
<b>腎・泌尿器科</b>						
9:00～12:00	●	●	●	●	●	●
14:00～16:30	●	●			●	
<b>透析</b>						
7:30～	●	●	●	●	●	●
13:00～	●	●	●	●	●	●
18:00～	●		●		●	
<b>総合診療</b>						(第1・3土曜のみ)
9:00～12:00	●	●		●		○
14:00～16:30	●					
<b>麻酔科</b>						
9:00～12:00	●	●	●	●	●	
<b>循環器内科</b>						
14:30～16:30				●		
<b>整形外科</b>						(第2・4土曜のみ)
9:00～12:00						○
<b>緩和医療科</b>						(第2・4金曜のみ)
9:00～12:00			●		○	

※緊急の検査・手術や学会出張等で変更になる場合があります。  
 ※いずれの外来も予約制で行っています。当日受診希望の方も電話連絡をお願いします。  
 ※毎月(月1回)の保険証の提示にご協力ください。



- 国道438号線沿い 県立文化の森総合公園の西側となり
  - 大型駐車場あり
  - 徳島バス 佐那河内線、徳島市バス 一宮線
- 【亀井病院前】下車。1日34便、上下線とも病院玄関前に停車します。通院・お見舞いにご利用ください。



亀井病院 HP

〒770-8070 徳島市八万町寺山 231  
 TEL.088-668-1177 FAX.088-668-1122  
 外来のご予約に関するお問い合わせは  
 日・祝を除く9時～18時

## \*\*お知らせ\*\*

- 令和5年度の高齢者用肺炎球菌ワクチン予防接種(定期予防接種)を実施しています。今年度該当する年齢(65,70,75,80,85,90,95,100歳)の方へは、専用の予診票が市町村から送付されています。自己負担金は4,000円(生活保護世帯に属する方は免除)です。
- 対象年齢以外の方も8,761円(税込)で接種できます。接種期間に制限がありますのでお早めにご予約ください。
- 徳島市がん検診や前立腺がん精密健診も受け付けています。
- あらかじめ電話にてご相談・ご予約ください。

## \*\*病院の理念\*\*

よりよい医療を提供し  
 社会に貢献いたします

## \*4つの基本方針\*

1. 患者さんの話に耳を傾ける医療
2. 職員全員が医療人としての技量を発揮するチーム医療
3. 患者さんの健康回復・社会復帰を目指す医療
4. 他の医療機関と連携する医療

職員全員で患者さんが  
 健康回復に取り組むことを  
 医療的にそして精神的に支援します

## \*\*編集後記\*\*

コロナウイルスの感染対策による行動制限もなくなり、遠のいていた県外への外出を今春より少しずつ増やしています。以前から気になっていたものの、これまで行く機会がなかったしまなみ海道を初めて渡りました。大島の展望台から穏やかな瀬戸内海や、渡ってきた橋を眺めて美しい景色に癒やされました。引き続き感染に気をつけて、興味のある所へ出向く好奇心は常に持ち続けておきたいです。(M.A)